

大分教育事務所訪問 8

臼杵市立東中学校から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心を持ち、自らすすんで学ぶ、健康で実践力のある人間」を育成するために、学校をあげて、「確かな学力・体力の習得」「自分の考えを表現する、正しいと言える力」「集団の一人として粘り強くやりとげる力」の資質・能力に取り組む東中。「学ぼう」「歌おう」「走ろう」のもと、行事だけでなく日々の授業においても生徒達が自ら考え行動している姿がとても印象的でした。

学校経営から学ぶ

学校の教育目標は長年「生徒でなく人間を育てる」と定め、その目的を全教職員だけでなく、保護者や地域、卒業生も共有しているようです。そのような大人の思いを受け、生徒達も自ら「学習目標」等を設定しているため、先生方の思いと生徒の願いが一体となって取り組まれていると感じました。

今後は、生徒が定めた「Let's授業磨き」各項目について、期間を決めて取り組むことで、生徒は成長したことを実感させ（数値の向上）、さらに達成した項目については、廃止（当たり前になったので）か、より高いレベルと目標を変更（質の向上）することを通して、なんのために行うか、どんな力をつけるために行うか明確になってきます。常に目的（どんな力をつけるのか）を意識することで、「育成を目指す資質・能力」もより具体的に絞り込まれ、学校だけでなく保護者や地域との協働も推進することが期待されます。

授業から学ぶ

どの授業においても、調べたくなる、解決したくなるようなワクワクする「課題」が設定されました。特に、2年社会のイースター島の雨温図を予想する課題は、調べればすぐにわかるものではないので、既習事項を活用したり、どのようなキーワードでWEB検索をするか等、先進的な事例と見ました。このように生徒が自主的に調べたり協議をする場においては、教師の立ち位置が重要です。

今後は、なるべく俯瞰的に見ること、それぞれの生徒がどのような活動をしているか、助言はどこまですべきか等を校内で研修してみたいかがでしょうか。素晴らしい実践が多いので、管内にもどんどん提案してほしいと思いました。



NO.63 2021年6月 臼杵市立東中学校

立ち位置

後ろから笑顔で見守ってくれる人がいる。だから、笑顔で歌うことができる。教師こそ最大の教育環境！



NO.61 2021年6月 臼杵市立東中学校

人間味あふれる豊かさ

相手の思いを否定しない。助言は素直に最後まで聞く。相手軸で考えることで、自分の心も豊かになっていく。



NO.60 2021年6月 臼杵市立東中学校

笑顔の授業

困難な課題だからこそ、相手の良さを認め合い、協力する。だから、次第に笑顔になる。



NO.62 2021年6月 臼杵市立東中学校

やる気の課題

調べてもわからない、そんな課題だからこそ、調べたくなく。そして、解決したくなる。